



《三体の黄色いスフィンクス》2025年 鉄、防風ネット

新進気鋭の彫刻家 福井初の個展

アートドキュメント 2026

久保寛子 青の太陽 緑の月

2026年4月25日(土) - 6月14日(日)

会場/美術館アートコア、野外美術館

時間/10:00~17:00 (最終入場 16:30)

休館日/月曜日 (祝日開館、翌平日休館)

観覧料/一般 600円 (400円)、65歳以上・障がい者 300円、
高校生以下・障がい者の介護者 (当該障がい者1人につき1人) 無料
※() 内は 20人以上の団体料金



ホームページ

ブルーシートや農業用ネットなど身近な工業製品を用いて、人間の身体や神話上の生き物をモチーフに、軽やかな彫刻作品を手掛けてきた久保。古代の創作物からインスピレーションを受け、現代の営みと結びつけた彫刻作品を発表しています。近年、国内の芸術祭等でも高い評価を得ています。

本展では、建築資材である陶タイルなど新たな素材を使った新作シリーズをはじめ、あわら市に残る歴史や民話を手がかりに、森の自然と共鳴する野外作品にも挑戦します。新進気鋭の彫刻家の試みをご覧ください。



久保寛子 Hiroko Kubo
1987年広島県生まれ。千葉県拠点。
テキサスクリスチャン大学美術修士課程修了。



開催日: 5月9日(土)・10日(日)

時間: 9:30~16:00 (雨天開催)

会場: 美術館アートコア周辺
創作工房、ガラス工房

無料シャトルバスをご利用ください。

イベント情報はこちら▶



関連プログラム

全て要観覧券

対談「久保寛子 × 青木野枝 (彫刻家)」

女性の彫刻家同士の、またとない対話の機会です。
日時/4月25日(土) 14:00-15:30 ※開場 13:30
定員/50人 (事前申込不要/全席自由)
会場/美術館アートコア ミュージアムー2

アーティストトーク

久保寛子と共に展覧会を巡ります。
日時/4月26日(日) 14:00-15:00
集合場所/美術館アートコア 展覧会場入口

ワークショップ

要事前申込

「青と緑の縄文ピアスのタイムトラベル・ペンダントづくり」

古代の創作物から作品の着想を得て制作されていることにちなみ、あわら市で発掘された縄文時代の石製耳飾りをモチーフにしたペンダント作りとその歴史を学ぶ縄文ピアスのプチ講座を開催。完成したペンダントを身につけてガイドと共に展覧会を巡ります。



ペンダントイメージ

協力: あわら市郷土歴史資料館

日時/6月7日(日) 13:30-15:00

対象/小学生以上

※詳細・申込方法は展覧会ホームページをご覧ください。

陶芸、ガラス、木工、アクセサリーなど様々なジャンルの手作りのお店が来店。多彩なグルメが味わえる「森のキッチン」、工房クラフト体験など2日間限定のイベントも開催。お気に入りの作品や作り手との出会いをお楽しみください!



●(公財)金津創作の森財団 事務局 TEL. 73-7800 休館日/月曜日(祝日の場合開館、翌平日休館)

●森のキッチン 定休日/月・火曜日(祝日の場合営業、翌平日休業)

原さんの作品 表紙に輝く

◆3月6日(金) 市役所



湯けむり映画祭 光る才能集う

◆3月8日(日) 清風荘



「第11回あわら湯けむり映画祭」の授賞式が行われ、各賞の発表とともに受賞作品の上映も行われました。

11回目を迎えた今年は、上映環境の充実を目指しクラウドファンディングにも取り組み、多くの支援が寄せられました。映画祭期間中は、過去最多となる全応募作品が上映され、作り手と観客が一体となって盛り上がる映画祭として、今年も大きなにぎわいを見せました。

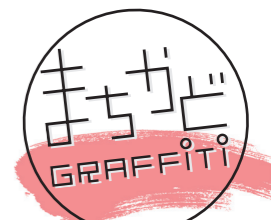
感謝を込めて卒業記念植樹

◆3月12日(木) 本荘小学校



本荘小学校の6年生24人が、卒業を記念して中庭で植樹を行いました。この取り組みは、あわら市緑化推進委員会による「環境緑化事業」の一環として実施されたもので、緑の募金の支援によりブルーベリーといちじくの苗木が植えられました。卒業式を翌日に控えた中、児童たちは6年間お世話になった学校への感謝の気持ちを込めながら、協力して丁寧に植樹作業を進めました。今回の活動は、地域の自然環境を守り育てる意識を高めるとともに、母校に思いを残す貴重な機会となりました。

まちかど graffiti では、広報係が取材した「あわらの話題」をお届けします!



教育委員会表彰が行われ、金津中学校3年の原翼紗さんが「キャンパスアートアワード2025」で全国3,045点の応募作品の中からグランプリに輝いた功績により、表彰されました。原さんの作品は最優秀作品として高く評価され、この3月からは受賞作品が表紙となった「キャンパスノート」がコクヨから発売されています。作品のテーマは「日常の中の非日常」。原さんは「表紙に憧れていたので実際になったときは感動しました。皆さんに買ってほしいです。」と笑顔で話していました。

新入生へ防犯ブザー贈呈

◆3月10日(火) 市役所



福井エフエム放送株式会社から、児童生徒が安心して登下校できる環境づくりを目的に、防犯ブザー165個を寄贈していただきました。寄贈された防犯ブザーは、市内小学校の新入生に配布され、地域ぐるみで子どもたちの見守り体制を強化します。森市長は「毎年寄贈していただくおかげで、子どもたち自ら身の安全を守ることができています。」と感謝の言葉を述べていました。

児童たちが晴れやかな門出

◆3月13日(金) 本荘小学校



市内7つの小学校で卒業証書授与式が行われ、保護者や教職員、在校生に見守られながら、卒業生たちは晴れやかな表情で学び舎を巣立ちました。

本荘小学校の林校長先生は「小学校での学びを自信と誇りに、中学校でも歩いてください。」とはなむけの言葉を贈りました。式の後半には、卒業生による合唱が披露され、子どもたちのまっすぐな歌声に、会場は一層感動に包まれました。